

「港湾・空港工事の持続可能性を確保するための作業船のあり方に関する基本方針」の概要

基本方針の検討プロセス

1. 作業船を取り巻く現状の整理

- (1) 作業船の種類、隻数等の基礎データ
- (2) 基本方針の対象とする作業船の検討
- (3) 作業船に適用される法令
- (4) 作業船を保有、維持、更新するための現行支援策



2. 作業船を保有(運用)するにあたっての課題整理

- (1) 事業継続上の観点からの整理
 - ① 事業計画上の課題
 - ② 資金調達上の課題
- (2) 担い手の育成・確保及び働き方改革の観点からの整理
 - ① 改正労基法を踏まえた積算基準上の運転／就業時間に係る課題
 - ② 係留場所確保の課題
 - ③ 非自航船における居住設備の設置基準に係る課題
- (3) 社会的課題解決の観点からの整理
 - ① カーボンニュートラル実現等の環境保全に向けた課題
 - ② 生産性向上の観点からの課題



3. 各課題に対する取組方針の位置付け

- 社会的要請を的確に捉えつつ作業船の適正な保有水準及び運用体制の確保を図るため、各分野の課題に対応するための取組を「基本方針」として位置付ける。

○各種委員会における議論を適宜フィードバック

- 港湾工事におけるCO2排出量削減に向けた検討WG
- 港湾工事プレキャスト化検討会(仮称)
- 港湾におけるi-Construction推進委員会

等

○法律や政策等の社会的要請を踏まえて対応方針を検討

- 船舶の大型化等に対応した国際コンテナ・バルク戦略港湾の早期整備・活用及び機能強化
- 港湾・空港施設の耐震化・液状化等を通じた交通インフラの強靱化
- 災害発生時における機動的・効率的な復旧
- 洋上風力発電の建設に向けた環境整備

等

R4夏 基本方針骨子案の策定
R4年度中 基本方針の策定